

1 学校教育目標

○徳・知・体の調和のとれた生きる力をもつ児童の育成

＜具体目標及び行動目標＞

◎思いあえる子〔豊かな人間性〕

- ・進んであいさつする。
- ・友達のよさに気づき仲良く遊ぶ。
- ・相手の気持ちを考えた言動をする。

◎学びあえる子〔確かな学力〕

- ・学習の準備をし、学習ルールを守る。
- ・疑問や問題の解決に向け、進んで調べたり考えたりする。
- ・読書に親しみ、家庭学習を毎日する。

◎高めあえる子〔健康、体力〕

- ・きまりを守り、明るく元気に生活する。
- ・清掃活動に真剣に取り組む。
- ・運動に親しみ、進んで身体を鍛える。

2 目指す学校像について

○信頼される学校

- ・児童一人一人が、毎日喜んで登校する学校（明るい学校、明るい学級、明るい職場）
- ・児童一人一人が、生き生きと活動し、授業が真剣に行われている学校
- ・全職員が、積極的に学校経営に参画し、日々充実感の得られる学校

3 学校経営方針

0 「新しい生活様式」を踏まえた安全・安心な学校体制づくりをする。

- ① 全職員の和を大切にしながら、教職員1人1人の参画意識の高揚と組織力の強化を図る。
- ② 学力向上に向けた組織的・継続的な取組の充実と教職員の専門性やICTを活用した質の高い授業づくりをする。（安中市学力向上推進中心校）
- ③ 地域に根ざした特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善をする。
- ④ 温かい人間関係を基盤としたいじめのない学校づくりをする。
- ⑤ 家庭や地域との連携を深め、信頼と協調の上に立った地域に開かれた学校をつくる。

4 今年度の努力点

豊かな心の育成

・生徒指導の三つの機能を生かした日常的な指導・支援を推進するとともに、自己有用感を育む教育活動を充実させ、明るく、楽しく過ごせるように一人一人の居場所づくりをする。

【秩序と温かさのある学級経営、あいさつ、返事の励行、児童の自主的、自治的な活動の充実】

・命や自他を大切にすることを育てる道徳教育を実践し、豊かな心を育み、児童主体のいじめ防止活動を充実させ、一人一人の良さや努力が認められ、いじめや差別のない温かく人間性あふ

れる学校づくりをする。

【道徳教育の充実と保護者への啓発、「思いやりの木」の活動推進、いじめに対する教職員の意識改革、「こころのアンケート」によるいじめや差別の根絶】

確かな学力の育成

・学習指導要領に基づいた教育課程の適確な編成・実施・評価、単元のゴールを意識した単元構想、問題解決的な学習等を重視し、学習スタンダードに合わせた授業をする。

【学習ルールの確立、家庭学習習慣の育成、「はばたく群馬の指導プランⅡ」を参考にした授業改善、個に応じたきめ細かな指導の推進、教材研究の充実、校内研修の充実、「学ぶ楽しさ」と「分かったと実感もてる授業づくり、読書指導の充実】

・新学習指導要領に基づき、実践的な校内研修を計画的・組織的に推進する。互いの授業を見合い、授業研究を充実させるなど、教職員一人一人が課題意識を持ち、指導力を向上させる。

【安中市学力向上推進中心校としての校内研修の充実、各自の課題に応じた研修の充実、継続した教材研究の実施、人事評価（目標管理）】

健やかな体の育成

・学校の安全管理・安全指導、美化活動を充実し、安全で潤いのある教育環境をつくる。災害時は、保護者等と連携・協力し児童の安全確保を最優先する。

【計画的、継続的な安全指導、食物アレルギーの対応、災害対応マニュアルの周知徹底、清掃活動の充実、安全・安心まちづくりネットワークとの連携】

・望ましい生活習慣の確立と身体活動量の増加に向けた取組により、体力の向上を図る。

【規則正しい生活習慣の形成、教科体育と体育的行事との関連を図った体力づくり、食育の充実、学校保健委員会による保健・衛生に関する理解の深化と実践、感染症予防対策の徹底】

安全・安心な学びの環境づくり

・「新しい生活様式」に基づいた新型コロナウイルス感染症対策、交通安全対策、防災・安全対策を充実させ、児童が安心して学校に通い、生き生きと活動できる環境づくりをする。

【うがい・手洗い・手指消毒・検温・健康観察の徹底、避難訓練・交通安全指導の実施、危機回避能力の育成、危機管理意識の向上】

・児童一人一人のよさや可能性を見出すのと同時に、児童の変化に早期に気づき、適応指導教室、SCやSSW、関係機関とも連携し、教育相談、生徒指導の組織対応を充実させるとともに、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を活用した特別支援教育を充実させる。

【校務分掌の活性化、報告・連絡・相談、即時・即日の徹底、教職員・児童・保護者・地域社会との相互の信頼関係、高い人権意識、関係諸機関との連携】

家庭や地域との連携・協働

・学校から家庭・地域に情報発信し、学校と地域の連携・協働による教育活動を充実させ、学校評議委員等の連携組織、内容等の工夫・見直しを行い、学校運営協議会の設置に向け、家庭や地域と連携・協働した教育の充実に努める。

【各種たよりの発行、授業公開、Webページの更新・充実、学校評価の実施、学校評議員意見交換会・学校関係者評価委員会、中学校・こども園との連携、安全・安心まちづくりネットワークとの連携、地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的推進に向けた基盤づくり】

G I G A スクール構想の実現

・ICTを活用した「個別学習」「協働学習」の充実、適切に活用するための情報モラル教育と情報活用能力の育成、指導力向上のための教職員研修を充実させる。

【タブレット端末の適切な運用、ICT機器を活用した授業の研究、ICT支援員を活用した指導力の向上研修、体系的な情報モラル教育の実施、スキル学習】